

議事概要記録

開催日時	令和5年4月8日(土) 15:00~17:10		開催場所	和歌山県立情報交流センター ビッグ・ユウ 研修施設2
会議種別	令和5年度 第1回理事会		議長	神藤 洋次
			書記	久保 光史
出席者 <敬称略>	参加：田中 規仁、神藤 洋次、田原 靖子、栗林 伴有、丸澤 佳子、久保 光史、秋田 豊和、葛原 和紀、森下 陽子、大前 嘉良、山本 須美子、藺田 豊、橋本 安貴子、山中 拓哉、竹中 正人、藤谷 泰明 計 16名			
欠席者 <敬称略>	中尾 光孝	ワグザバー		
次 第				
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 公益事業活動 ② 定款・渉外 ③ 災害対策委員会 ④ 精度管理 ⑤ 会誌編集 ⑥ ホームページ ⑦ 会報 ⑧ 月例行事予定表 7. タスク・シフトシェア指定講習会 8. 第42回和歌山県医学検査学会 9. 第62回近畿支部学会 10. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・新人オリエンテーション ・総会、施設責任者会議 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度定時総会議案書 			
決議事項 及び 継続事項	<p>開催に先立ち田中会長よりご挨拶。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <p>1. 会長報告</p> <p>日臨技・近畿支部について以下のとおり報告あり。</p>			

- ・日臨技 倫理綱領の改定 → 今後和臨技でも作成が必要
- ・集団接種・職域接種における臨床検査技師ワクチン接種打ち手
(違法性の阻却) 廃止
→ 今後日臨技からの通達を基に、和臨技会員への周知も必要

・知事とメディカル・スタッフ団体及び病院協会長との懇談会
→事前調査表に基づいた内容について当日説明。
県薬務課、卸連合との協定については継続審議。
技師会としてのEMIS参照権限を要求したことについては、前向きに検討との返答を頂く

2. 常務理事会報告 (別紙参照)

○令和4年度 第7回常務理事会報告

・次年度年間スケジュール

オリエンテーション・施設長連絡会議・総会・常務理事会・理事会等を含め別紙スケジュール案を基に検討。常務理事会については基本 Web 開催とすることで一致した。再度調整をおこなった上で、理事会に提示し確認を取ることにした。

・病院協会シンポジストについて

田中会長より委員会参加報告書を基に説明。

第28回和歌山県病院協会学術大会

テーマ 「医療新時代に向けた取り組み」

サブテーマ 多職種協働、タスクシフト、働き方改革等を盛り込む予定。

シンポジウムではテーマ・サブテーマに沿った内容となり、看護協会からの要望もあることから、和臨技としてはタスクシフトに関する発表を目指すことで決定。

常務理事会での審議にて、シンポジスト推薦者はタスクシフト実務委員より選出することを確認した。

・会長賞選考について

表彰審査委員会で、本年度の会長賞を審議した結果を答申、次回理事会で報告することを確認した。

○令和5年度 第1回常務理事会報告

・学術奨励賞、新人賞選考について

表彰審査委員会で、第42回和歌山県医学検査学会一般演題より、学術奨励賞、新人賞選考について審議。答申書も含め次回以降の理事会にて報告とする。

・知事とメディカル・スタッフ団体及び病院協会長との懇談会報告

会長より、懇談会提出資料を基に説明あり。

和臨技の活動報告に加え、課題として「コロナワクチン接種への打ち手」「薬務課、卸連合との臨床検査診断薬供給体制協定書の3者締結」について提案したとの報告があった。

また、和臨技としての広域災害医療情報システム（EMIS）への参照権限の委譲について提案をおこなったとの報告あり。

・新人オリエンテーション

案内文書を基に事務局より以下内容を説明。

開催日時：2023年4月15日（土）15：00～17：00

会 場：済生会和歌山病院 7階講堂

内 容

- 組織（和臨技・日臨技・日技連）について
- 渉外活動（タスクシフト等）について
- 公益事業について
- 会員登録・会費納入、会員のための補償制度について
- 学術活動について
- 学術部ミニレクチャー
 - ① 血液検査班：「血算・凝固検査の注意点」
小山明日美技師（紀南病院）
 - ② 総合管理班：「おさえておきたい採血のポイント」
関根敏勝技師（和歌山県立医科大学附属病院）

・総会、施設責任者会議

●「令和5年度施設長責任者会議」

開催日時：令和5年6月10日（土） 13：00～15：00

会 場：和歌山商工会議所 特別会議室

対 象：技師長・検査室責任者など（代理出席可）

内容として、日臨技からの情報について田中会長から報告の予定。
その他、参加の責任者対象に管理者研修的な内容の研修会を開催することで一致。具体的な講師の選出を進める。

案① ビッグ愛 精神科医師による心理の安定性について

案② 検査室の人材育成について

広島大学病院 診療支援部 副診療支援部長・臨床検査部門長
山崎 真一先生

●「令和5年度定時総会開催告知」

定款第14条の規定により、令和5年度一般社団法人和歌山県臨床検査技師会定時総会を下記のとおり開催します。

※総会議案書と議決権行使書は後日配布いたします。

開催日時 : 令和5年6月10日(土) 15:00~16:00(予定)

場 所 : 和歌山商工会議所 特別会議室

3. 事務局報告

1月25日	臨地実習指導者講習会受講のお願い	和臨技
2月22日	令和4年度和歌山県災害医療従事者研修	和歌山県
3月12日	新人オリエンテーション案内	和臨技
3月13日	令和4年度知事とメディカル・スタッフ団体及び病院協会長との懇談会・懇親会	和歌山県病院協会
3月25日	「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023 わかやま」後援名義について	リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023 わかやま実行委員会
3月31日	「令和4年度和歌山県臨床検査技師会 「臨床検査精度管理調査の報告」 和歌山県、和歌山県医師会、和歌山県病院協会へ報告書を送付	

以上について報告。

4. 学術部報告

栗林学術部長より報告

●令和4年度班長班員会議報告

開催日 : 令和5年1月21日(土)

開催場所 : 済生会和歌山病院7階

○次年度予算について

・令和5年度予算申請について報告

昨年同様、各班15万円の活動費を支給することを伝えた。

ただし、学術部活動(PC購入・班長班員会議での交通費等)においてどうしても立て替え払いが必要な時があるので、各班には10万円を支給し残りの5万円は学術部で預かり、不足分は連絡いただくことで補填することを伝えた。

○年間行事について

・令和5年度和臨技オリエンテーション担当班

令和年度は血液検査班・総合管理班に決定した。

講師は

血液検査班...紀南病院 小山 明日美

総合管理班...和歌山県立医科大学附属病院 関根 敏勝

に決定した。

・令和4年度学術部一泊合同研修会

コロナがいまだ収束していないことから、今年度も一泊の研修会は出来ないものと判断した。ただし、他施設とのコミュニケーションを目的とした研修会の開催の要望も多くあり、一日研修会として開催することとし、担当班は生物化学検査班・輸血検査班に決定した。

講師は

生物化学検査班...和歌山県立医科大学附属病院 平康 雄大

輸血検査班...和歌山県立医科大学附属病院 富坂 竜矢

に決定した。

・第 63 回日臨技近畿支部医学検査学会 和歌山県開催 10 月 21 日・22 日

事務局より、協力要請は行っているが、再度、和歌山県開催時の協力要請を伝えた。

○勉強会について

・勉強会参加費

令和 5 年度も日臨技会員は無料と理事会で決定したことを伝えた。

非会員はどのように対応するか質問があったが、学生以外の日臨技非会員は参加出来ないと回答した。

また、理事会には令和 5 年度も無料開催の方向でお願いしていることを伝えた。

○第 71 回 日本医学検査学会 優秀演題賞受賞について

・公立那賀病院 片山 裕大 優秀演題賞を受賞したことを報告した。

○その他 以下は配布資料内容

・スプレッドシート運用について

学術の WiFi の運用にあたり、使用日が重ならないように行事予定をスプレッドシートで早くお知らせするため継続運用することとした。

・総会議案書名簿

久保事務局長より次年度より総会議案書に施設別名簿を掲載しないことを伝えた。また、必要なところには配布することを学術資料に記載した。

○和臨技精度管理委員会

・班長班員会議と同日に精度管理委員会を開催した。

●表彰審査委員会答申書報告

【会長賞】

日本赤十字社和歌山医療センター 検査部 芝山 晃栄 技師
会誌和臨技第 50 巻 2023 年 3 月
「下肢閉塞性動脈疾患に対する ABI 値と SRPP 値の比較検討」

【学術奨励賞】

新宮市立医療センター 中央検査部 丸瀬 ちほ 技師
第 42 回和歌山県医学検査学会発表
「当センターが経験した尿沈査中にシスチン結晶を認めた一症例」

【新人賞】

日本赤十字社和歌山医療センター 検査部 熊野 なつ 技師
第 42 回和歌山県医学検査学会発表
「EDTA 依存性偽性血小板減少症 (EDP) における Vortex 攪拌時間の検討」

●第 23 回学術部合同研修会案内

開催日 : 令和 5 年 6 月 24 日 (土)
開催場所 : 和歌山 JA ビル (和歌山駅前)
募集人数 : 約 100 名 (昼食付)
申込み期間 : 令和 5 年 5 月 1 日 (月) ~ 令和 5 年 5 月 31 日 (水)
参加費 : 無料
グループによる症例検討 2 症例・・・輸血検査、生物化学検査
特別講演 「人生の転機～いくつかの Turning point～」
橋本市民病院 診療技術部 臨床検査科 技師長 秋田 豊和 先生

10 グループに分けて症例検討の予定。
参加者内からグループ進行役をお願いする予定。

●学術部名簿について

別紙参照。

5. 経理部報告

令和 4 年度決算報告書の作成進行中。
完成次第、監事による監査手続きの予定。

6. 各種委員会報告

① 公益事業活動

報告事項なし

② 定款・渉外

報告事項なし

③ 災害対策委員会

報告事項なし

④ 精度管理委員会

中尾理事欠席のため、久保事務局長代理報告。

●令和4年度和臨技精度管理委員会報告

開催日：令和5年1月21日（土）

開催場所：済生会和歌山病院7階

① 総括統計の作成・公開について

現在、施設別報告書受領時点では、N数が極端に少ない（1や2）集団に属する施設において他と比較することができない。また、定量系以外の部門でも、自施設の回答が正解もしくは不正解であったかのみの情報であり、全体における自施設の状況が把握できないという課題がある。

この課題を解決するために、JAMTQCシステムの「総括統計」を設定することで、施設別報告書発行時点で自施設の結果について大多数を占める装置もしくは試薬と比較することが可能となるので、次年度以降に実施してはどうかという事前の提案があった。これについて反対意見がなかったため、次年度から「総括統計」を各班で設定することとなった。また、日臨技サーベイでは参加施設に試料を発送する前に各メーカーにも試料を発送して測定してもらっているが、和臨技でも同様の対応ができないかと意見があった。先にメーカーに試料を送付するには参加施設の使用装置や試薬の調査など、準備が必要なためすぐに対応するのは難しく、今後の検討課題とした。

② サポート事業の開催方法について

和臨技サーベイのサポート事業について今年度のように各班の勉強会の一環として開催する方が良いのか、やはり以前のように精度管理報告会の後、各領域ブースを設営してのサポート方式が良いのか、もしくはこれに捕らわれない最良の様式にて開催するのかについて、各班からの意見を述べてもらった。各班の意見は細かい部分で違いがあるものの、勉強会の一環で開催する方が、参加者が多くなるのでよいのではないかという意見で概ね一致した。勉強会の開催方式について、現地開催、web開催のどちらもメリットとデメリットがあるため、原則としてハイブリッド方式での開催とし、現地開催のみ、もしくはweb開催のみの方がよいと判断した班についてはハイブリッド方式でなくてもよいこととした。

③ 令和5年度のスケジュールと精度管理報告会について

次年度のスケジュールについて事前に配布された資料を供覧しながら説明があった。特に、今年度の設定ミスやチェック漏れがあった部分については念入りに確認するようにと指示があった。参加施設の申し込み締め切りを1週間早めて欲しいという意見があり、その他のスケジュールに影響がないため、参加申し込み開始日と締め切り日をそれぞれ1週間早めること

とした。令和5年度の精度管理報告会について、2024年2月17日(土)に開催することが決定した。場所については未定であるため、決定次第報告することとした。

④ その他

今年度より評価をつけることとなったため、評価CもしくはDとなった施設への対応について、現状のサポート事業だけでは不十分な点もある。こういったアプローチが必要なのかは準備も含めて今後の検討課題とする。また、参加施設へ公表する前に、結果が妥当であったかを審議する委員会を設けることを検討する必要があるのではないかと意見があったが、現時点ではどのような立場の人間が担当するべきかが決まっていないので、これについても今後検討していく。

現時点では、結果に対する疑義も含めてサーベイに関する全てのことは精度管理委員長が窓口となり、専門的な内容については精度管理委員長から各班へ連絡して対応することとした。手順書に記載する問い合わせ連絡先についても、精度管理委員長に統一することとした。

→委員会補足として、精度管理設問に対する疑義解釈などについて、精度管理委員会だけでなく第三者委員会的な検討も必要ではないかとの意見もあった旨報告。

田中会長

→第三者委員会を将来的に検討するのであれば、日臨技等から適任者を推薦、紹介してもらうのも一案かとの意見を頂く。

栗林学術部長

→あくまで会議ないでの意見として出たものであり、引き続き熟考する事案である。

●精度管理報告書について

2/14 (火) : 報告書公開済 (JAMTQC システム公開、和臨技 HP 公開)

●精度管理報告会について

【開催日時】 令和5年2月25日 (土) 13:45~16:45

【開催場所】 ホテル浦島 (和歌山県東牟婁郡那智勝浦町勝浦 1165-2)

【参加者数】 61名

認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師に伴う指定研修会受講者4名。日臨技へ終了登録完了済。

●令和5年度事業について

・JAMTQC システム利用申請を事務局へ提出済み。事務局で技師会印捺印の上日臨技へメール申請中。

・募集要項作成中。各班内容とねらいの文章を検討中。

- ・スケジュール大枠は以下の通り（詳細はエクセルファイル参照）。

日程	内容
6/1 (木)	募集要項HPへ掲載
6/26 (月)	申し込み開始
7/13 (木)	申し込み期限
8/21 (月)	試料到着（手引書・フォト集JAMTQCシステム公開）
8/21 (月)～9/1 (金)	調査期間
9/1 (金)	各施設からの結果入力期限
10/16 (月)	精度管理調査願い各施設発行、施設別報告書、総括統計JAMTQCシステム公開
11/7 (火)	精度管理調査願い回収期限
2/6 (火)	報告書JAMTQCシステム公開、和臨技HPへ報告書JAMTQCシステム公開
2/17 (土)	精度管理報告会

⑤ 会誌編集

橋本理事より報告

会誌和臨技第 50 巻 2023 年 3 月発刊完了について報告
発行部数 467 部

⑥ ホームページ

報告事項なし

⑦ 会報

葛原理事より報告

次回の会報準備中。和歌山学会一般演題発表者に執筆依頼中。

常務理事より

→通例年間 2 回の発行であり、予定通りの発行を進めて頂きたい。

万一、発行が遅れる場合も、適宜常務理事等にも相談の上進めて頂くことで一致。

⑧ 月例行事予定表

報告事項なし

7. タスク・シフトシェア指定講習会

森下理事より報告

●第3回目（田辺市）

2023年4月9日（日）開催

場所 和歌山県立 情報交流センター ビッグ・ユウ

- ・講師 コンテンツ1：和歌山県立医科大学附属病院 岡香先生
コンテンツ2：和歌山県立医科大学附属病院 山本美子先生
コンテンツ3：自治医科大学 味村俊樹先生
- ・参加申込 52名（3月30日締め切り）
- ・3月10日から大阪府と兵庫県からも参加申込可能に設定。1名のみ大阪府より申し込み有り。日臨技HP上で縛り解除していることが分かり難く3月22日ごろに大臨技に広報を行った。

第4回目（和歌山市）

- ・開催日 2023年12月10日（日）
- ・場所 和歌山ビッグ愛 12F 会議室 仮予約中
- ・講師 味村俊樹先生、ご依頼済み
- ・実務委員 現在の実務委員から2～3名交代の予定。
希望者がいればお申し出ください。
- ・広報は5月の行事予定～掲載したい。参加申込は和歌山県内の会員から開始し、申し込み状況を見て大阪府などに拡大する予定。9月～10月頃から申し込みを開始したい。

受講状況

確認日	指定講習会 修了者 会員 414名中	実技講習会 受講者	事前基礎研修 履修済み	事前基礎研修 受講中
2022年6月26日 (第1回開催)		54名		
2022年7月10日	62名		56名	83名
2022年9月16日	62名		81名	75名
2022年10月30日 (第2回開催)		49名		
2022年11月3日	111名		45名	68名
2023年1月6日	112名		51名	80名
2023年3月30日	112名		43名	63名
2023年4月9日 (第3回開催)		52名(予定)		

8. 第42回和歌山県医学検査学会

学会長 田原副会長より報告

テーマ「原点回帰」 ～新天地への再始動～

会場：ホテル浦島 現状現地開催の予定

会期：令和5年2月26日（日）

- ・第42回和歌山県医学検査学会 参加者 104名

(会員 82名、賛助会員 22名、学生 1名)

- ・意見交換会 70名 (会員 34名、特別講師 1名、賛助会員 35名)
- ・実務委員 : 21名
- ・特別講演 1題
「十人十色」都 隆豪先生 日本医療学院専門学校元教諭
- ・一般演題 13題
- ランチオンセミナー 1社
- スイーツセミナー 1社
- 機器試薬展示 5社
- 広告協賛 30社

→第43回和歌山県医学検査学会は令和6年度 和歌山市内開催予定

9. 第62回日臨技近畿支部医学検査学会 神藤副会長より報告

会期 令和5(2023)年10月21日～22日
会場 アバローム紀の国、和歌山県民文化会館

- ・第5回実行委員会の議事内容にて報告
- ・次回実行委員会開催について
第6回実行委員会 4月15日(土) 13:00～15:00
済生会和歌山病院 7階多目的ホール

10. その他

●全国検査と健康展 和歌山開催日程について
秋田理事より、新年度の全国検査と健康展の開催日時について、予算案段階で検査の日である11月11日(土)開催を予定していたが、理事会の予定と重複しているのと、本年度の近畿支部学会が10月開催でありかなり予定が詰まっている状態で準備時間の確保困難が予想される。
改めて開催日時の変更(年度末1月～2月)について考慮頂きたいとの提案あり。
→理事会日程変更も含め要相談にて進めることで一致。

審議事項

●令和5年度提示総会議案書の作成について
誤字、脱字を含め紙面内容を確認。
修正版を事務局より後日再送することで一致。

記録作成	令和5年4月22日	氏名	久保 光史	提出	令和5年4月22日
------	-----------	----	-------	----	-----------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可